

民間感覚を活かした予算の策定を

半賞 光芳 議員 (フォーラム)

問 24年度予算において、歳出削減の方向性には賛成するが、歳出の抑制が十分でないため、歳入を確保すべく、基金の取り崩しとなっているのではないかと。

答 24年度予算では、厳しい財政状況の中でも、喫緊の行政課題に的確に対応するため、歳入の確保や歳出の抑制とともに、市債と基金を計画的かつ効果的に活用することとし、市債については元金償還額以内での発行など、プライマリーバランスの黒字化を堅持し、最大限活用し

た。

なお、行政と民間の会計手法は全く同一のものではなく、比較できることばかりではない。



基金については、将来を見通し、その涵養を基本に東日本大震災からの復旧・復興など、優先的・重点的な施策・事業に取り組むため、必要な基金残高に留意しながら、活用を図ったところである。

その他の質問項目

- ①市国民健康保険特別会計
- ②執行体制
- ③LRTと公共交通ネットワーク
- ④コンパクトシティの構築
- ⑤第3子保育料無料化
- ⑥子ども医療費助成
- ⑦自治会
- ⑧エコシティ宇都宮への補助金返還請求
- ⑨歴史教科書の選定
- ⑩子どもの家事業の見直し
- ⑪雀宮駅周辺整備

2019ラグビーワールドカップ キャンプ地を誘致すべき

中山 勝二 議員 (自民党)

問 ラグビーワールドカップは、オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ大規模な世界大会であり、2019年には日本で開催されることが決定している。

答 ラグビーワールドカップはラグビー世界一を決める大会として、1987年以降、4年に1度開催されており、日本は第9回大会の開催地として、現在、「ラグビーワールドカップ2019組織委員会」を立ち上げ、大会の準備を進めている。

ナメントの開催地を決定し、その後キャンプ地などを決定する予定である。

オールブラックスのような世界的な強豪チームのキャンプ誘致は、姉妹都市のオークランド市をはじめとした、国内外との交流をさらに深めることができるとともに、大きな経済効果も期待されるため、今後は、キャンプ誘致に必要な条件などの情報収集に努め、県や関係団体と連携を図りながら、キャンプ誘致の可能性を検討していく。



その他の質問項目

- ①持続可能な財政運営
- ②J.R宇都宮駅東西口の再開
- ③今後の社会保障政策
- ④第6次市高齢者保健福祉計画
- ⑤第5期市介護保険事業計画の策定
- ⑥高齢社会における医療提供体制、児童虐待
- ⑦防災行政(自主防災組織、災害時の情報共有)

議会改革〜一問一答方式と一括質問方式の選択制など始める〜

議会制度検討会議において、23年7月から議会制度の見直しを進めてきたが、今年1月、中間答申が提出された。



▲会長(中央)、副会長(左)が議長へ中間答申を提出

行うこととし、3月定例会より一問一答、一括質問の選択を可能とする。あわせて、従前3月定例会で実施してきた代表質問的な一般質問を、明確に代表質問として規定し、3月定例会より実施する。

○賛否の公表

議案等への賛否について、議会広報紙では6月定例会から党派単位で、議会ホームページでは3月定例会から議員単位でそれぞれ掲載する。

◎各議員の賛否について、市議会ホームページで公表しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>

3月定例会では、この答申内容に基づき初めての「一問一答方式」による一般質問が行われた。答申の主な内容は、次のとおり。

○海外視察の自粛

例年実施してきた友好姉妹都市などへの海外視察について、東日本大震災や経費削減にかんがみ、今任期中は自粛する。

○一般質問における対面方式、質問方式の選択制及び代表質問の明確化

一般質問において、対面方式、質問方式の選択制を



▲3月定例会で実施した一問一答の様子